

◆ 4、豊かな心と活発な交流を育む多彩な文化のまち

投票番号

4

事業名

「OTSUKA KIDS STREET CUP」
～子どもが主役のスポーツイベント in ironowa hiro ba～

事業開始予定年月日

2026年 4月 1日

令和8年度～10年度の予定総額

2,145万円

目的

- ① 子どもたちにスポットを当てることで健全育成・地域コミュニティ醸成・地域のにぎわい・“応援する”ことでの一体感の創出を図る。
- ② ironowa hiro baを「誰もが行き来する場所」だけではなく、「地域の顔が見え、世代を越えて多様な交流ができる舞台」として機能させる。
- ③ 行政補助に依存しない“自走する公共空間定例イベント”を実現する。

効果

- ① 子どもの健全育成と挑戦心の涵養。
- ② 「応援」を通じて、家族や住民、商店、団体、企業が地域としての一体感が形成される。。
- ③ 地域商店街・公共空間の活性化、来街促進。
- ④ 豊島区のブランド価値向上、恒例行事化による持続的な発展。

コア施策

～ストライダーカップ in ironowa hiro ba～

3月下旬の桜が咲く季節の定番イベントとして、空蝉橋から下ってくる桜並木を横に子供たちがストライダーにまたがりスタート！

坂道を下る勢いをそのままにironowa hiro baのモニュメントをぐるっと一周しゴールを目指します。沿道ではご家族をはじめ「応援」で大盛り上がりです。



～プロダンスチーム「CHANGE RAPTURES」との交流～

イベント開催によりつくった「応援」というきっかけを地域の日常にも浸透させられるよう、大塚駅北口に拠点を持つプロダンスチーム「CHANGE RAPTURES」との互いに顔の見えるつながりの場をつくります。子供たちにとっては国内トップレベルの技術に触れ高い目標を持ち、挑戦心を涵養していく地域の下地をつくります。



～地域共創ブースの出店～

イベント開催に際してはこれまで長く地域振興に携わられてこられた、「商店街」や「町会」の皆様にもお声がけさせていただき、実行員会を組成します。公共の場で安心・安全の視点でお祭り等を続けて文化を守り続けている皆様と、新たなアイデア、視点で文化を醸成していく皆様を「応援」の輪でつなげ、子供たちを通じてお店や企業を応援する機会を「イベント出店」という形でつくっていきます。



4年間の事業イメージと発展のステップ

「OTSUKA KIDS STREET CUP」は、2026年度にスタートし4年間をかけて
“前例づくり → 規模拡大 → 恒例行事化 → 補助金に頼らない自走”を目指します。

まずは前例をつくる「第1回」

令和8年度
(2026年度)

- 2026年4月に準備を開始し、2027年3月下旬に第1回大会を開催。
- 2歳～小学校低学年の子ども約80人がストライダーカップに参加。
- 飲食・物販など5～8店舗が出店し、家族連れを中心に延べ約1,000人来場を想定。
- ironowa hiro ba と周辺道路を安全に使い、「応援がまちをつなぐ」新しいイベントの前例をつくる。

規模拡大と「応援の輪」の拡がり

令和9年度
(2027年度)

- 第1回の経験をもとに、2日間開催を視野に入れた第2回大会を実施。
- レース参加者を約100人規模に拡大し、出店も8店舗程度に増加。
- 延べ約2,000人来場を想定し、商店街や地域企業との連携を強化。
- スポーツメーカーや地域企業からの協賛も本格的に募り、次年度以降の土台をつくる。

区外からも来場する「春の恒例行事」へ

令和10年度
(2028年度)

- 第3回大会として、毎年3月下旬開催の春の定番イベントとして定着を目指す。
- レース参加者を約120人規模とし、区外からの参加・来街も積極的に受け入れ。
- 延べ約3,000人来場を想定し、映像やSNS等での発信も強化。
- 「応援文化」を大塚らしい地域ブランドとして発信し、豊島区全体の魅力向上にもつなげる。

補助金に頼らず続ける、自走型イベントへ

令和11年度
(2029年度)

- 第4回大会以降は、区の補助金に依存せず、自主財源で運営。
- 会場のキャパシティに合わせて規模の拡大は追わず、内容や質の向上に重点を置く。
- 協賛金・出店料・参加費などで安定的な運営を行い、「応援を通じて地域の一体感を育むイベント」として定着させる。



Message

子供達が主役になり、思いきり走り、転び、また立ち上がる。その姿に「がんばれ！」と応援する——「OTSUKA KIDS STREET CUP」は、そんな“当たり前”のようにも思える健全な地域社会の在り方を体感し一体感を醸成していくためのチャレンジです。
ironowa hiro ba から生まれる一体感と熱量を、大塚の新しい魅力として、区内外に発信していきたいと考えています。
このイベントを、地域の春の風物詩として根づかせることを、私たちは本気で目指しています。子供達を真ん中に、応援でつながるまちへ——その第一歩を、ぜひ皆さんと踏み出したいと思います。